広報 南国
編集発行 南国市役所
電話(代表)451番
印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな読むもの…………つくるもの

久礼田上水道起工
工費一、三三〇万円で

久礼田地区の簡易上水道起工式は一月二十五日、配水池建設予定地で西村市長、野口議長ら市関係者と、各方面の来賓を迎えて行なわれ、明年完成とともに、関係住民三千五百人の長年の悩みも根こそぎ解消することとなつた。

同工事は総工費一千三百三十万円。

まず取水池と配水池の建設を行ない、三十五年度に配水管埋設、ポンプなど諸機械の据付を完成することになつている。

主な工費次のとおり。

取水池九十八万円、配水池三百三十一万円、ポンプ四百七十万円、滅菌装置三十一万円、送水管三百二万円

同和対策審議会結成
—専門部もつくる—

市内の同和行政と同和教育を積極的に推進するための同和対策審議会委員は、このほど市議会、教育関係者、学識経験者などから約二十人が選ばれ五日組織、役員を選任した。

近く対策三カ年計画もたてることになつている。

委員長＝吉村雅男、副委員長＝西村一之、沢田武彦

産業経済部長＝谷田豊喜、厚生部長＝橋田信夫、教育部長＝福川藤茂

幹事＝小笠原豊暢、村山忠夫、浜田義満、山本知一

委員＝野口幸重、久米徳幸、吉本豊（以上市議）、中村二郎、入野照喜、大前正男、川村秀一（以上教育関係）、池知秋水、岡川豊茂、金堂福重、坂本源吉（以上学識経験者）

南国市婦人会連合会結成

会員約七千人の南国市婦連はさる三日、後免野田小学校で結成された。

市から補助金六万八千円を受けて活動することになつている。

現在決めている事業はモデル婦人会の指定、青年団や教育委員との話いなど。

会長＝岡林政衛、副会長＝小松千代、浜田亀子、会計＝中沢道子

水道を大切に
市役所から呼びかけ

寒くなつて水道の水が出にくくなる場合が多くなつているが、市役所水道係は次のように、大事にあつかつて使つてほしいといつている。

▽出ている部分にワラや布を巻いて凍らさないようにする。▽出ないときは無理にセンをあけずに、湯をかけやつてから使う。

社会体育指導委員決まる

三宮寛（日章—剣道）、橋本国雄（後免—同）、浜田淳作（前浜—民踊）、窪川弘（大篠—ソフトボール）中沢順之助（稲生—民踊）村田導（十市—全般）、中村豊照（三和—バレーボール）、宮本芳子（後免—民踊）、高橋学（東崎—卓球）、吉村雅雄（西区—柔道）、

浜田良明（国府—陸上野球）久米徳幸（久礼田—野球）ソフト）、橋詰哲夫（植田—同）、中司弘光（白木谷—バレーボール）、西岡輝盛（外山—フォークダンス）、島井幸治（岡豊—全般）三宮陽（野田—同）、今井昭夫（岩）、川村正一（伊達野—全般）

農地の潰廃と轉用

農地を住宅や工場、学校などに転用する場合は、ご存じのように農林大臣か知事の許可を受けなくてはならない。

その転用を許可するかどうかを決めるため、こんど許可基準がつくられることになつた。

転用によるあらゆる痛手や悪影響を防いだり、それらをいくらかでも少くするのが狙いになつている。

以下市農業委員会の資料によつて説明してみよう。

〔転用許可基準の内容〕

(1)都計や工場立地などの計画は、前もつて農業面のことを考えておき、関係機関で話合つてそれぞれの計画の調製をとる。

(2)農業上の必要性と、周りがどんなに宅地化されてきているかという面から原則として転用を認めない土地、事業の種類と事情によつて転用を認められる土地、転用を原則として認めていく土地の三つに分け、これを順に第一種、第二種、第三種農地と呼び、第三種から順に転用されていくように定められる。詳しくいうと

〔第一種〕

生産力の高い、土地改良事業、開拓事業などの農業投資が行なわれた農地のほか集団的になつている農地である、

しかし第二、第三種にあてはまるものは除かれる（例外がついている土地は第二種）。

しかしまた、道路、水道などのように、どうしても第一種農地をさけることのできないような場合など、土地収用法に定められた事業の場合は転用がみとめられる。

〔第二種〕

港や工業用水道、道路、排水路など工場を動かすに必要な施設が統合的に整えられているところの農地とか生産力低く土地改良もやつてない小団地の農地をいい広い面積を必要とする大規模な施設で市街地の中で適当な土地がみつからなかつたり、衛生上の問題から、市街地の中に入りこめない場合など、また第三種農地に設けることが困難であつたり不適当な場合転用が認められる。

〔第三種〕

土地区画整理事業が行なわれ、道路が整然とついている区域。ガスや水道、下水道がついて住宅地としての条件が整つている場所。駅や港、また市町村役場などの公共施設が近くにある場所の農地とか、すでに附近が宅地化して街の中に取り残された農地などのように将来当然市街化される予想のできる農地は原則として転用が許可される。

春ちかし　国府地区で

才入出一、六三〇万円
上水道特別会計予算

南国市上水道特別会計予算本年度分はさきの市議会で才入出一千六百三十万円に決まつた。内容は次のとおり。（単位千円）

〔才入〕使用料手数料一、三四〇、国庫支出金三、三二五、県支出金九五〇、繰入金二、一八三、市債八、五〇〇、雑収入一、

〔才出〕上水道費一五、六八三、公債費五八八、予備費二七、

一二三万円
ダム対策予算も決定

三十四年度の穴内川ダム対策特別会計才入出予算も、さきの市議会で百二十三万八千八百円に決まつた。

内訳は才入で繰入金百二十三万八千八百円、才出で委員会費五十七万八百円、事務局費四十五万三千円、調査費二十一万五千円。

小学生体育大会成績

一月十八日の南国市小学生体育大会の成績次のとおり。

マラソン
1武内光仁（白木谷）、2和泉政広（国府）、3川添賢（岡豊）、4浜田彰（岡豊）、5坂本任（久礼田）、6和泉周民（国府）、7中沢信幸（稲生）、8岡本守雄（大篠）、9中沢富男（岡豊）、10岩橋雅彦（長岡）

ドッジボール
〔男子〕1岡豊、2日章、3大篠、3後免野田
〔女子〕1岡豊、2長岡、3久礼田、3三和

恵まれぬ子らにプレゼント

上野田婦人会の人たちは一月下旬、高知市愛仁園をたずね、恵まれぬ子らに座ぶとん、衣類など百点余りを贈つた。

これよりさき会員たちは同園を慰問して、資金が少くてみじめな暮しをしているのを知り、この冬をいくらかでも暖かくすごしてもらおうと、座ぶとんづくりや衣類集めをやつたもの。

応募二八七人
市の職員採用試験

市では一般事務、技術関係の職員を採用するため一月三十日後免野田小学校で第一次試験—一般教養—を行つた。

採用者は十人余りといわれるが、応募者は男女合せて二百八十七人にのぼつた。

公平をはかるため、試験問題の作製や実施は県人事委員会に委嘱された。

なお第二次試験—口頭など—合格者は、市に登録、欠員に応じ採用される。

照明コンクール

売り上げを高めるための「照明コンクール」が近く後免地区の商店街で行なわれることとなつた。

これは四国電力のキモ入りで市産業経済課との話合いで具体的に実施方法が決められる。

優秀なものには四電から賞品も贈られる。

従来高知市に奪われていたお客も照明の工夫によつて魅力をませば、かなり食い止められる見込みである。

農道改修～県道舗装

市の中央部後免地区と南部の海岸地帯を直線的に結ぶ県道後免—浜改田線は次々に拡幅工事が進められ三十五年度中に終了する予定だが、すでに改修したところは昨年秋からコンクリートの舗装始められている。

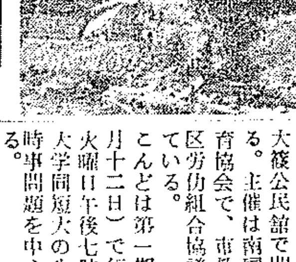
里改田協和農機前から北へ約七百メートルの間で工費は約六百万円といわれる。

残りも三千万円近くを投じ二、三年のうちに完成の見込み。

また北部瓶岩地区でも新農村建設事業の一つとして楠線農道が完成、増産に一役買うこととなつた。

総工費は四十万二千円で、延長百十六メートル、幅二メートルのもの。

完年によりこの地区の耕地経営は労力の節減となり、このため作物に手が回るところから米でも毎年千数百キロ増産される。



写真上は後免—浜改田線の舗装状況、下は瓶岩の現場

全校長が提出
難航を極めた勤評書

長い間ごたごたしていた小中学校教職員の勤評書は同市教育長の努力と、その呼びかけに応じた小、中学校長の決断により一月三十一日に全部県提出済みとなり、ようやく終止符が打たれた。

一位は三和OBと岡田君

楠瀬協和農機社長の楠瀬杯争奪第十回卓球大会はさる二十四日三和の公民館で行なわれ、熱戦の結果、次のように成績が決まつた。

団体
①三和OB、②学生チーム、③里改田OB、④三和青年団

個人
①岡田数美、②松木郁夫、③永井誠、④戸田椰喜

仂くものの学校
南国市勤労者学校開設

市の労仂者や婦人、青年層を対象とする南国市勤労者学校は一月二十六日夜から大篠公民館で開設されている。主催は南国市勤労者教育協会で、市教委と後免地区労仂組合協議会が後援している。

こんどは第一期（一月—四月十二日）で毎月二と四の火曜日午後七時から、高知大学同短大の先生たちから時事問題を中心に講議される。

入会の費用は百円で、後免町西町、土長教育会館内の同会事務局が申し込みを受付けている。

国府小給食室完成

総工費七十万円で工事中の国府小学校給食室ならびに小使室はこのほど完成し、二十六日完工式を行つた。

面積は延べ七十二・六平方メートルで、給食は重油バーナーを使つてつくり児童百十二人に配給される。

調理室建設
久礼田小学校に

久礼田小学校の給食調理室は近日起工される運びとなつた。

建坪十一坪のもので、工費四十八万円の予定。三月末までに完成し、新学期から給食のはず。

鹿児島のお客

鹿児島県町村議会議長会の一行三十五人は一月二十八日来市、南国市の園芸など産業事情を視察した。

共同研究課題
嶺南農研で決める

市北部の嶺南農研会三十五年度共同研究課題は次のとおり決定した。

水稲の増収安定

室内育苗による試験研究（室内育苗器による無假植試験、品種の比較試験、OED使用試験、栽植密度試験）

畑苗代（苗代様式の比較、品種比較試験）と陸稲早期栽培試験研究。

二期作稲の安定増収（品種と苗代日数の試験、畑苗代の試験研究、栽植密度試験）

深耕による増収安定（深耕用トラクター水田発破の効果試験）

病害防除による増収安定（共同防除組織の充実整備、抗生物質による白葉枯病防除、イモチ病防除、薬面撒布効果）

肥培管理の研究（施肥量と時期の影響研究、中耕除草の回数と収量の関係）

果樹の振興と増収安定（カンキツ類はモデル園の設置試作園の設置、集団化と共同機械施設、新農薬と摘果効果、肥料試験—落葉果樹はブドウのビニール栽培試験、ブドウジベレリン使用試験）

蔬菜園芸の振興（セロリの試作園設置、里イモに対するジベレリン、土壌資材の消毒、各種ソ菜の病害防除）

農機具関係（耕運機の稼動時間調査、穀物乾燥機と乾燥剤の使用価値試験）

簿記、記帳、営農設計

酪農関係（飼料作物の比較試験—収量と栄養価）

こだま

春は来たが南国市の財政的悩みは深いようだ。だからこそ市長はウデのみせどころで、まさにスーパーマン的活動ぶり。でも、どこかの町村みたいに執行部三役が顔を揃える日は議会の日だけで、長と助役が二人ともいた日はないというようなことのないように。いいえて妙。陣情をしても、もらえるものはもらえるし、くれないものはくれぬ。▼政府は宣伝広報活動に積極的な意欲をみせ、現在のPR強化へ本年度の十五倍予算を来年度に計上するという気の入れ方。「広報」とは、あくまで真実を周知徹底させる活動で、政府のご都合主義によつて、うまくいいくるめることではない。広報活動の効果をあげるにはまず国民の政府に対する信用が条件だ。その点では岸内閣はまだまだ心細い。▼市の広報も役所の一方的な"おしらせ"にとどまらず、市民の生の声を反映させ、市当局に耳の痛い忠言でも、どしどし取り入れるものでなければ意味はない。常に広報活動によつて市政と市民が直結しておれば、たとえ赤字財政による緊縮施策にしても市民の協力を得るのにさほど困難ではなかろう。"ガラス張りの市政"を口先でなく実行するためには、平素からの広報活動がなによりも大事。だが広報面には、えてして財政上のシワが寄せられがち。▼十二月の庁内人事にまつわるいろいろなうわさが乱れ飛び、憶測する市民の声も入つてくるが、ところでこんど職員の採用試験を、県人事委に依嘱したことはどうにか救いとなろう。

市民の声

市当局や議会、または個人同士の攻撃にならぬご意見をおよせ下さい。
締切り＝毎月二十日
宛先き＝市役所内広報係

私の気づいたこと

去る十二月十七日のことである。ある用件にて市役所総務課を訪ねた。広い事務室には三、四十人位の机椅子が準備されてある。前し事務を執つているものは僅かに六、七名、後は全部空席である。「Tさんは」いませんかと尋ねると、さあーと云う返事。Nさんはと聴けば、どこえ行つたのだろうと云う。取り着くしまがない

己むを得ず隣の室にて用件をずませ色々話している内総務課の面々は議会準備の為、稲吉屋という旅館で仕事をしていると云うことがわかつた。同室の者の不親切なそして正直でないのが不愉快で仕方がない、否腹だたしくさえ思つた。

それから三、四日して又、出掛ければ過日と同様留守である。

ここで考えてみたいことは役所と云う所は、議会準備は勿論のこと、住民福祉増進の為あらゆる事務を司べき場であると思う。然るに其の場を離れて他所で大勢の者が事務をするとは、不都合至極である。

それには色々事情理由もあると思うけれども、それは理由には決してならない。何故ならば、役所はそういう事務を執るが為に設置してあるからである。

旅館の幾室かを使用するに当つて、之は無料で使用が出来るかと云うことである。例え無料であるとすれば、旅館主の迷惑は、この上もないことであり、有料とすればこれこそ無駄な費用であつて我々住民として見逃すことは出来ない。

小額とは云え我々も納税義務者の一人である。その血税の一部を以て支払はれると思ふとこの様な暗費は大いに節約して貰はなければならない。

旅館で事務を執ると云うことは、自己の利便を計ると云うことに外ならないのである。

どうか将来は住民を犠牲にする様な費用は、全体に慎んで下さい。

十二月の広報もみてもらい市長にもつとしつかりしてもらいたい。（一市民）

主張　広報というもの

市民の市政に対する関心が強くなり、この広報を通じても市当局や同議会への要望が多い。

「それはこの点が間違つているではないか」「これはこのようにすべきではないか」ということだから市当局や議会にすればいやなこともあろう。だからある方面に「よいことづくめ」のことをのせる希望があるようだが、これは誤りだ。

一例をあげると市長は、市民の声をよく聞いて市政に反映するとうたつている。意志表示の組織を持たない市民が、なにによつてその意志を市当局や議会に上達するかといえば、それは〃市民の広報〃だ。もつとも直接、または議員を通じての意志上達はあるとしても、いいにくい、また小さいことはやりにくいから共通の場である広報にたよるものが多い。これはまた市民の知識ともなり市政への関心も深くなるという目にみえぬ効果も生んでいる。

市当局にしても、市民の希望（たとえ小さいものでも）を知るうえに広報の〃市民の声〃にまさるものはない筈だし、聞くべきことは聞いて方法をたてる雅量をより大きく持たなくてはならない。

ものごとに理想的にまとまつたものはまずない。欠点とか、あるレベルに達しないことはあり勝ちだから、市政に対しての〃声〃があるのは当然だ。理由は誕生直後であることや、これに伴うて目の届かないという理由もあろう。たとえば後者のような場合に触れてみる。いまはどうか、執務時間中の職員組合幹部の会議開催は普通に考えると許されないことだ。市当局がこれを認めているとすれば、いささかなさけ厚きにすぎようし、職組が職場を離れる許可も受けず当然視してやつているなら市民へすまないことだ。万全を期することはできなくても強固な指揮監督、労務管理が行なわれておればこのような事態は起らぬのではないか。

皮想なみかたではあつても以上のような事例も広報という場をかりて明らかにされたら、市民は善処方を求めようし、市当局も手を打ち、その結果、理想的な職場（市役所）の建設も実現してくる。前に述べたようにいやでも苦言は聞かなくてはならぬ。

苦言のある間は欠点があるのだ。広報は市役所や議会の〃お知らせ〃式の出版物であつてはならない。お知らせの一方、市役所や市民は広報の〃場〃で意見をのべあうことにして、よりよき南国市を築くようにしなくてはならない。

国府川改修と井堰の統合

穴内川ダム建設に伴ひ国府川の改修が促進せられる様になつた事は、吾々五〇〇年の非願が実現することであり誠に喜びにたへない。この際国府川治水の根本対策を立て、永久に水禍より子孫を護ることは現在生を受けたもの丶責任ではなかろうか。その第一にあまりにも多い井堰について考へてみたい。

天正地検帳によつても明らか如く、国府川の南北両岸共に古くから開田耕作せられていたが、奥の浅い鉄砲川特有の著しき旱抜に悩まされ、止むを得ず井堰を多数構築、度々の出水に壊れゝは直し、壊れては直しの由しい賦役と出費にをの丶き又井堰の為流通不良、逆流溢水も天命とあきらめざるを得なかつたのでしょう

しかるに約六十年前新改発電所の完成により水量は当加、状況は一変し井堰の必要は半減したが、施設変えの運びに至らず、大正十四年の秋、光岡堰の上流部に於て堤防決壊、大水害により幾多の尊い人命を失ひ農地流失の被害を受けたのであります。

今回穴内川ダム建設予定による著しき放水量の増加は益々井堰の必要を認めず、逆流、溢水の危険を増加する事は何人も承知するところです。

この際こそ井堰を撤廃し、水位を下げる事により堤防を相当かさ上げしたと同様の効果があり、野水の排水を計り農民を井堰の維持管理費の負擔より開放できるのです。

灌漑用水は最少限の合同堰より前世紀の遺物の如き水路をコンクリート巻にすることにより、近代的なものとすることにより、水量の増加、漏水の防止、分水の合理化、常水の確保、あわせて水濡問題も解決すると確信するものであります。

（国府川改修促進協議会長　野利行）

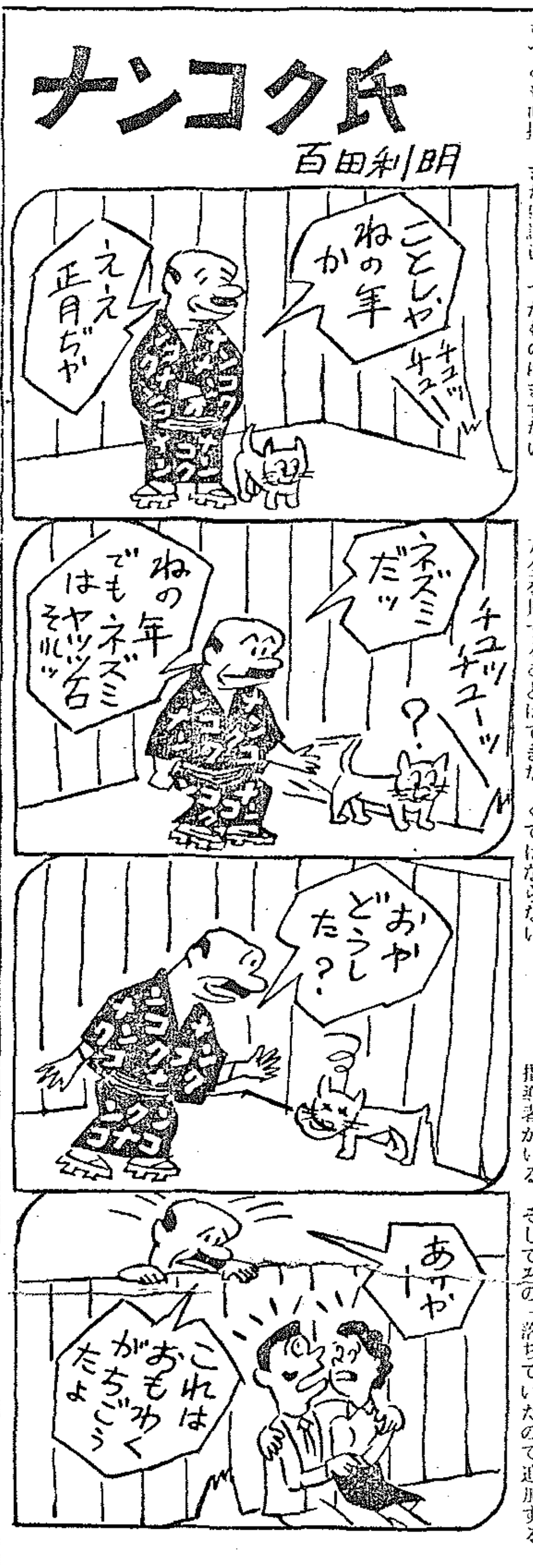
成人になつて

一九六〇年の一月十五日は記念すべき日である。二十才になつた私達には、今までもつていた二十才の感じが成人式と云う一つの場をもつて社会的に公認された、と言う何とも言い表わす事の出来ない嬉しさがこみ上げてくる。それと同時に社会的な権利、義務とを確しなければいけないと思う重圧感もある。

今私は周囲を見て成人というものが存在しているだろうかと疑問に思う。年をとつて俺は貫ろくなんかよりも世の中を知つている金もあるんだ。権力も握つているのだと言う傲慢さに充ちた指導者がいる。そしてその人は社会の本質的な発展の為に必要な人民の要求反映と言うものを無視して、現在どれと結託したら営利上都合がい丶のかと算用して一部の権力（価値なき）と組んで、ボス支配の強化に走くり廻つている。私は成人になつたと言うこの契機をとらえて、これからの社会の為に成人した六〇〇余名の同志と多数にのぼる青年仲間と手をとり合つて、われわれ青年が夢をもてる南国市、社会の実現につくしていきたく思います。（三和・浜田勉）

知事賞追加

前ケの「市第一産業祭の入賞者氏名」から知事賞を得た西野々、中沢益次さんが落ちていたので追加する。



庁内人事に思う

庁内人事は市役所内外の各階層から非難されている。[redacted]結局、失礼ない言い方になるが、職員の学歴はほとんど似たり寄つたりで、その能力に差はあまりないはず。だとすれば、職員の士気を高め能率の向上をはかるため、これらの起用には一定の基準を設けておくべきだ。たとえば課長クラスは勤続十二年以上、課長補佐は同十年以上、係長は七年以上というように——。こんどのように、中卒の者が勤続三年足らずで課長補佐になることはどこの世界にもない。（市政同憂の士）

日を追うてよくなる

……（係から）……

このところ市役所に対する投書が非常に多い。ここに掲載したのはその一部である。

そのほとんどが、庁内の気分引き締めと、職員すべてがより公僕精神に徹するよう求めている。

二カ月にわたつて格付人事がなかつたため、〃私の気づいたこと〃にみるような事実のあつたことは否定できぬが、いまは勤務ぶりも改善されてきた。この上は、市役所上層部の適切な人事管理にまつべきで、旅館会議も新庁舎建設が実現して、〃場〃を得ることになれば少くなろう。ただし、市当局としてもこの際〃旅館会議〃を極力避ける方法をおろそかにしてはなるまい。

保健所へ

保健所はもう少し公衆浴場や食品販売業者の指導に乗り出してもらいたい。全くこうした方面は放任しすぎている。市内の公衆浴場は夜おそくゆくと脱衣場は足の踏み入れもできないほど、綿ボコリが積んでいることが多い。またパンや生菓子のおろし屋が、よごれた手で、ホコリのついた蓋の上に数えて置き、それをワシづかみにして陳列に入れているが、これは卸し人も、その店ももう少し清潔にするよう心がけてもらいたいことだし根本的な対策は保健所係員が実態を調査してやつてもらいたい。こうした衛生行政は警察の手を離れて、保健所に移つてから悪くなつたようにみられるがヒガメというものか。（市内・一老人）

こうすれば盗難は防げる

寝る前の戸締りは厳重にする。また、家を留守にする時は、なるべく留守番を置く。やむをえず一家揃つて外出する時は戸締りを厳重にし、必ず隣りへ行き先や帰る時刻、その他必要なことをよく頼んでおくように。

賊は戸締りの不完全や留守をねらつています。また、いなかだからと言つて油断は禁物です。

自転車の置き放しは盗んで行けと言うのと同じです。必要でないときや、用件で道ばたへ置くときは、必ずカギをかけ、自分の目のとどくところに置くように注意しましょう。

また、自転車の車籍登録をまだ済ませていない方は、いますぐ、もよりの自転車店で登録を受けて下さい。

教育正常化は夢か否か

浜田春水

南国市暫定教委を最後に過去八年間の思出に触れてみたい。多くの教育課題を眼前にしながら、端的にいえば非武装革命と接戦の明け暮れではなかつたのか。明治時代、日本の国土に埋められたサンヂカリズムの種子が、終戦後に法の陽光を得て芽を切つたとみるのは誤りだとも思えない。

教育界においては、教師の倫理綱領にその基本精神が布石された。そして教組活動の拠点となす労働者意識を中軸となし、過去相次で点火された闘争問題やその展開ぶりといい、時には他の組織団との連繋活動などには一貫したイズムありと感受されたからだ。

教職にある限りは、かくと知るも知らぬも時潮の声に身を委かせて、否応なく乗込んだ教組丸ではないか。脇見する意見も自由も許されよう筈もない。船はイズムの目指す取舵にばかり運ばれていく。共産主義や無政府主義の示唆に立つサンジカリズムではないか。理論は無用、激しい直接行動が唯一の戦法だ。鉄的の団結！闘志の昂揚！闘い取る！この三つが活動の基調でもある。

華々しいリズム展開に当面する教委にとつては、〃話せばわかる〃ではなくて世間離れのした様態の話合い即相遇戦であつた。サルトルのいわゆる粘体理論がその奥の手と受取つた。怖るべき戦術を何処で誰れから修得したのか。交渉委員ならぬ闘争委員の旗影が靡いている。代表者の後には多勢の人影がひしめき動く。そして〃要求の前に屈服せよ!!〃これでもか、これでもか、がこの革命型でもある。教壇ゼネストはその極致でもあろうが、これ程までに修練を積まれた先生方に感心もさせられた。政治目的のためなら手段を選ばずがマキヤベリズムだが、先生方の修養もマキヤベリスト化は感心するわけにはゆかない。

一面では、教組丸に対する思想ピケの厳重さにも感服した。文部省指定席（コンドルセ理論の示唆か）、天下り指導行政の拒否、教育の教組的自治化を想わす企画、下からの盛揚りの叫びや民主教育を守るなどの声の裏には、アナーキズムの弾があると同時に、一意雑音混乱に対する思想ピケであり、団結の線に突破口を与えないのがその狙いではなかつたのか。かくて先生方は、四方の景観に目を掩うたトンネル進行さながらと感ぜられた。たゞ教組が異色となす所は、政治闘争に手を伸ばしている点がサンジカリズムの型破りともいえようか。

ここに要約して述べてみたい。イズムは牙城を陥れるまでは次々と闘い取るの[illegible]その[illegible]でありまた信条でもある。現下の勤評問題が何とか片付いたとしても教組が、現在の倫理綱領の精神に腰をおろしている限り、今まで相次いであつたように、今後も闘争の種はつきることはあるまい。かような革命型展開の途上においては教育正常化を夢みるのはその意義が怪まれる。郷土の子弟教育が、教組的サンヂカリズムの歯車の中を、むしられながら繰出されていつてよいとは誰考えられまい。これは勤評の是非問題とは比べものにならない重大な関心事ではあるまいか。

（成）（人）（に）（な）（つ）（た）（人）（た）（ち）

稲生地区

藤田博一、田村高親、沼昌子、前田敏、沢本瓶馬、浜田伸夫、松岡俊子、田内律子、浜田佐智子、福井正幸田中美恵子、福重泰男、高橋敏昭、浜田俊男、竹村朝子、井上登美男、島内勇征戸梶忠義、横矢年夫、森本和郎、横矢美年子、井上香代、山本正子、田中博、井上安男、山本幸作、池森裕恵、田所英児、池森猛、中沢嘉宏、小松春子、窪川節子、竹村英美、松本信子

日章地区

岡本昭、野村節三、山本洋子、池本律子、野村稲実、横山達子、高木美代子、近森阜子、北岡学、山下幸子下司順一、長尾和枝、島村久枝、鍋島通夫、小松幸子甲藤初子、渡辺広之、久竹操子、並川百合子、島内昌子、小松岩美、田村美通、奴田原正秀、岡村真紀、有沢美枝、山岡義典、中沢俊郎、中沢士郎、中沢三枝子楠瀬桂子、藤宗智幸、北村宏、沢谷武、今城美佐子、楠瀬弘子、吉本八代、浜田年松、吉井璋弘、末政維夫吉々昭子、藤宗清一、末政博章、池添幹、藤本三重子長崎健吉、山本照子、北村真知子、吉田美枝子、森本富美子、楠瀬厚良、吉井浩子、高村靖彦、伊藤愛子、北村哲男、栗田勝、別役訓子、都築憲司、佐竹美喜子前田恵美、島本久美、加藤卓一、北村隆道、北村邦雄山本博道、元吉伸一、西川重光、日和佐光、北村豊子吉田安男、小野宣篤

大篠地区

野村栄子、窪田和子、永沢広三、浜田純一、陸野文雄田村玲子、坂本弘子、杉村タカ子、川本浩子、沢田敏子、土居伸吉、大和康伸、松岡敬子、森田初子、松木美代、溝渕健夫、中沢靖夫森美代子、中沢純子、関田佳代、関田迪子、西村幸子野村啓一、野村雅枝、大谷敦子、池本裕子、橋田祐子千頭麻子、西村初男、中田紘一、田中順、松田早智子田中富士子、西原景良、中平淑恵、尾上憲勝、武市美智、楠瀬由香、武市雅男、宗石忠男、久弘枝、山本朝子、橋田政男、伊藤邦雄、野村美智子、野島和子、山中昭男、山本満子、吉田美佐子、山岡久子、谷村礼子野村浩子、横田典生、西田弘顕、吉本彰宏、高野良夫小西義一、川沢常男、竹内啓一郎、清岡徹夫、別役淳西山博史、門田陽子、溝渕進一郎、溝渕昌弘、永野博之、島崎幸明、山本悦子、岡本初恵、鎌倉誠子、

十市地区

村田朝美、山崎薫、土居広子、土居美和子、土居峯、上居好子、久尾浩子、土居清、土居美香、村田充子、田中朝香、村田文子、中沢剛喜、浜田艶子、土居小夜子、梅田美喜子、山本義輝鍋島英輔、中田貞広、中田出世、山本経弘、村田繁晴宮崎正賢、山本征史

三和地区

岡上和子、浜田勉、山本朋良、松村美鈴、川久保利通大和田愛子、田内幸子、吉山東子、西山幸男、井上貞子、橋田善仁、相山拓治、杉本安、光富千恵、中沢淳岡田四郎、中沢徳美、浜田玲子、林田一利、池田時子野村美恵子、福井一宏、楠瀬美、楠瀬暁子、竹村隆夫卯田春夫、竹村邦子、浜田美佐子、三宮通代、松下伸顕、神田博、浜田夏子、溝渕誠喜、岡田益水、平松武士、大家富美、溝渕善俊、溝渕久雄、松木満里子、溝渕順子、阪上陽子、川村充子、松木富子、森田一夫、中村豊照、中村長生、西村善行、西村日出子、中沢南海男、高木民、中田豊恵、西村実嘉、島崎啓子、刈谷雪枝、坂本悟、野村勝利、西岡三男、八松孝明、宮地年子、広光布三江、中田哲枝、久保和子

前浜地区

吉永忠男、山本登志博、森岡和弘、大原利夫、山口利夫、浜田玲子、野村位佐子高木明子、山本和雄、高木末、浜田紀美、久家富身子浜田ミツ子、松下洋、涯美佳世子、杉本算子、浜田三男、浜口隆生、野村正和、前田次郎、前田義勝、浜田精子、松下民、高木勝、浜田美恵子、浜田恵子、末政徳子、浜田富夫、常徳和幸山本雅久、杉本雪子、前田初子

岡豊地区

葛目良則、葛目信行、葛目英夫、岡田英子、川田悦子甲藤靖子、柴田幸孝、山崎晃、浜田和彦、浜田俊男、高橋秀治、石本明美、石本隆子、山崎睦子、田村忠直村上宏、中沢清、島崎照喜沢忠雄、山本茂男、馬場幸男、中沢海寿子、森本悦子森本一、橋村敏、浜田見夫西川幸城、西田美子子、杉本導、掛野岡明子、浜田隆子、浜田美恵子、山崎周子田淵寿喜、橋田喜孝、西村茂弥、岡崎通利、田所桐子野田敏子、橋田末子、西田弘顕、西田米作、高橋将夫西内嘉子、牧野悦子、井畦正光、葛目雄一

野田地区

大野堅一、竹村叔子、桑瀬好子、吉永礼子、田中三代春田卓志、北村一正、清水美代子、高橋恒子、中沢佳子、西岡勝吉、寺石幸雄、前田尚平、岡林操、広井満亀、中沢和良

後免地区

杉本守雄、窪田隆士、奴田原信孝、野崎正清、西内満子、田中まり、土井弥生、森田順子、中山啓子、利岡洋、末次邦子、野村実知子岩貞好彦、溝渕政博、山本邦彦、川村隆司、門田彰夫葛目美恵子、山中賢広、元吉功、横畠義哲、浜田大雄三谷紀美子、釜滝京子、永沢三和、有吉和子、二宮一真明実郎、公文二郎、宇田年子、紀伊勲、依光忠良、中内四郎、梶田容秀、森口泰尚、野村道代、谷浩子、和田初子、高橋照子

長岡地区

石本新一、長尾孝次、桑原富士夫、岩貞紀子、井上美智恵、吉田節子、吉本貞、間島征佳、竹村久雄、竹村通男、岩目啓子、浜田富、大石君代、川添由美子、田所清江、浜崎顕、刈谷順一田中類、山下正美、松田貴志、間島英一、北村潔、藤村玲子、森沢照美、池田文子、田鍋喜代、島崎千代、上島武正、門田親雄、笹岡重利、岡林一彦、大久保昭上島淳一、秋月孝夫、森下愛子、原徹昭、矢野隆、秋山茂敏、高松梅子、佐々木洋子、沢田公子、浜田操、岡林繁政、笹岡保、池知潔岡林長生、岡林義和、藤島玄入、大石兵一、坂本忠之須藤正弘、浜田豊子、岡林喜美、奥宮和子、野島哲浩延崎満子、植村英雄、野村相子、清水裕、依光達郎、別役幹子、依光妙、坂本真鈴、山本等、森田哲輔、石川嘉美、野口猪三郎、山島登、藤中義史、井上喜代子岡崎淑子、武田幸子、山本賢一、岡田豊年、徳平節子黒岩啓子、田中隆、中西濠村田健一、村田美喜、山崎照明、山崎健一郎、田淵光子、佐々木さえ子、佐々木時子、吉本一夫、野中雄二山中隆博、吉岡美千子、前野陽子、森田栄子、川村景敏、奥平美津子、福岡杉子国沢美代子、北村登志子、尾崎健、川崎幾三郎、野村光雄、森下勲、西田朝子、中山節子、森下芙美子、森知春子、川田慶永、川田幸夫、山田守忠、森知貴秀、西村美代子、藤田巌、沢田守、宮地土佐男、森本俊男中田十四子、森本恵美子、西本秀夫、西野隆子、門田幸子、松下幸子、永尾良宏山岡功、岩本富子、山崎久美子、山崎俊子、福島満智子、宮田好子、山崎繁一、松村昭一、松岡一知、藤田喜美恵、西尾守正、川添寿喜、西村佐恵子、中山美津子、中山寿美子

国府地区

戸田敏夫、石川次男、浜田郁雄、竹内志津、公文京子三谷満、高村明紀、戸田綜雄、遠藤佐代子、門谷寛生和泉紀子、和泉澄、石本義春、三谷絹子、竹村絹、小松一雄、秋沢和夫、川村美千子、門田一枝、小松卓生小松日出男、永田永、久米貞夫、西岡金信、服部義尚雅禧和香、公文万里子、朝日奈君子、武内佐和子、池内道子

久礼田地区

松尾春信、原淳二、岡林静寛、門田正、西本泰之、松本昇、幾井律子、東条敬子神山照子、東条生子、門脇与保志雄、竹村繁、池上精一、沢村寿賀子、坂本美知子、島村京子、沢村泰助、徳橋修、横山凱、川田咲子久米征男、鍋島恵美、柳瀬睦、弘松艶、吉川美智子、竹崎繁子、久米征、小松繁久米雅美、合田節子、岸窪井上彼、滝口正夫、伊藤巌西岡重典、久保田貫一、岡村登志子、坂本都、坂本忠義、岡崎皎子

瓶岩地区

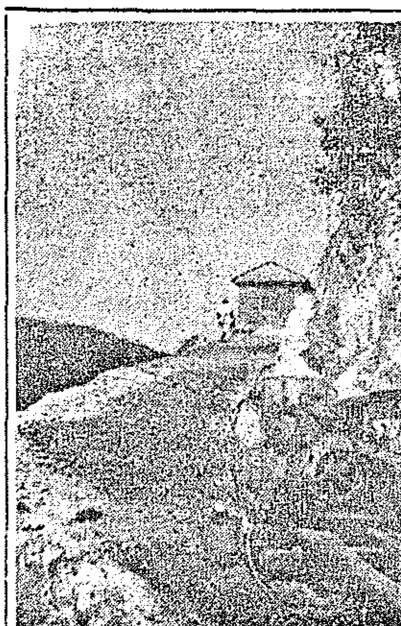
末花忠昭、西岡富男、宮地翔子、金山香代子、戸田敏子、前田静、大利芳正、岡崎和歌子、松村明雄、河邑忠司、勝賀瀬信義

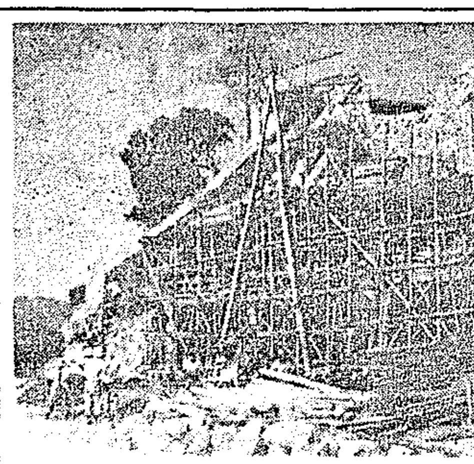
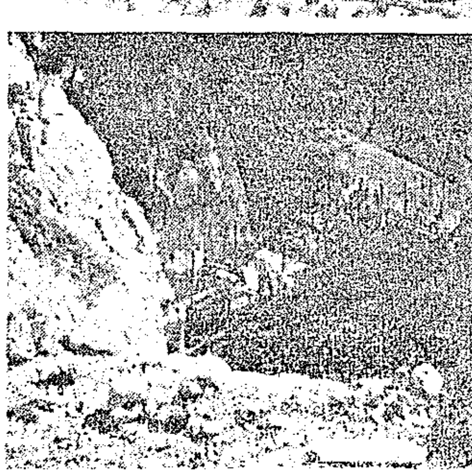
上倉地区

岡崎康、林米子、宮本早苗岩原良英、田岡稲一、棚橋よし、明神美代、西原昭夫仁尾泰信、中山盛、岡本忠徳、門田淑子、岡本篤、岡崎治郎、加藤徳子、川村和代、黒岩剛、有沢利夫、高橋藤子、中司林、岩崎武子中司重子、岩崎みよ子

岩地区

溝渕安彦、甲藤直子、徳久美恵、森広光、中内多美子横畑光、斉藤敦子、斉藤隆寛、島村宏明、西岡良助、出間亀子



本格的開発へ

──瓶岩、上倉の石灰資源──

市の山間部―瓶岩に眠る無尽蔵の石灰岩は、町村合併前の旧後免町当時から本格的な開発が計画され、有力工場の誘致に乗り出したが実現のひまなく南国市が誕生。その誕生をお祝いすかのようにまず一部の大開発が準備されている。

そこは国道高知―高松線沿いの一角で全山石灰石、わずかに小さい雑木におおわれている。

これまでは一部を掘り取つて現場で石灰を焼いていた。

それを四国鉱業が買収して開発準備を始めたもので約八千万円がつぎこまれることになつている。

現場施設はいま七分どおり完成しているが、なにもかも機械でやるようにし、大型機械が続々運びこまれている。

とくに大がかりなのは貯鉱槽で、一度に千五百トンを入れることができこのドに輸送用トラックがくると、そのまま流れ込むようになつている。

鉱石はトラックで高知港まで送り、船積みのうえ、広畑製鉄所に製鉄原料として輸送される。

作業はすべて機械化の流れ作業だから月一万トン採掘しても従業員は三十人に足りない。

なおこの地区の石灰石埋蔵量は県などの調査によると約一億トンにおよび、品質も万点。

大がかりな開発はここだけなく向うの山でも近く別の事業主が採掘するほか、隣接上倉地区でも事業が始められるようで、市民の懸案も実現することとなつた。

写真説明……

右上は国道沿いに建設される貯鉱槽。

下はそれを山側からみたもので前方の広いところは国道こうして輸送に恵まれている。

左上は国道から採石場に登る新道、建物も新設のもの。

次はすつかりかたづけられた採石場の一部。

下は施設機械の一部

南国市の皆様え

南国市税務課

市税の納税につきましては常に御協力を頂き、日一日と向上致して居ります事は真に御同慶に存じます。

併しながら一部には税金を滞納して居られる方もあり、真面目に納められて居る方には真にすまないと思ます。

市政の円滑なる運営は、市税の納入如何にかゝつて居る事は申す迄もありません。

納税に依る南国市将来の発展は、皆様の御協力次第で左右されるので宜敷く御願い致します。

就きましては昭和三十五年度（昭和三十五年四月より）税法に依り、納期を経過して納めず、尚督促状を経送し、その督促状の指定期限迄にも納めない場合には、延滞金並びに延滞加算金を徴収致しますので不利になるばかりではなく、既に納税された方にすまないと言う御気持で、期限に納税される様御願い致します。

必ず取替えを

原動機付自転車の標識

原動機付自転車の標識は、旧町村ごとになつていたため、市税務課ではこれまで新しいものに取替えていたが、まだ全部すんでいないので、残りの人たちはなるべく早く、市役所、各支所出張所などで取替えるよう呼びかけている。

市章について

さきに募集した南国市章は県外からの応募もあり五百余点に達し、厳重審査中ですから二月中に決定し、三月の広報紙上で発表することに致します。

盛大に部落葬

吉本代次郎氏逝く

野中地区、吉本代次郎氏はこのほど八十六才で死去、地区の人たちはその功績にむくゆるため盛大な部落葬をとり行なつた。

同氏は若くから耕田事業のために尽し、向上した野中地区今日の基礎をつくつた。

生前中に建立された故人の頌徳碑は西部公民館西の県道そいに、長く徳をたたえている。

南国市今月の税金

二月は後免地区、野田地区、岩地区、岡豊地区が昭和三十四年度固定資産税第四期分の納期（二月一日－二十九日）です。

南国市税務課では次の通り出張徴収をしますから必ず期限内に納めて下さい。

地区	月日	時間	場所
後免	2月23日	正午－後1時30分	黒滝農協支所
〃	2月24日	前10時－前11時	成合農協支所
〃	2月25日	前10時－正午	奈路農協支所
〃	〃	後1時－後3時	瓶岩農協
〃	2月26日	前10時－後2時	上倉農協
〃	〃	前10時－後2時	旧久礼田村役場
〃	2月27日	前9時－正午	国府農協
〃	〃	前9時－正午	長岡東部公民館
〃	2月29日	前9時－後4時	国府農協
〃	〃	前9時－後4時	長岡東部公民館
〃	〃	前9時－後4時	旧岩村役場

岡豊地区は岡豊支所、野田地区は市役所本庁え納めて下さい。

善行日記

はるらび伸子

昨年九月二日から十月十一日まで一日も欠かさずに〃善行日記〃を書き続けた中学生がある。市立香長中学校三和分室の二年B組、浜口宣浩君がそれ。この間同君は毎日なにかの善行と名のつくものをやってのけた。もとよりその善行はささいなものではあるが、その善意にはこころを打たれる。そこにはまた、浜口少年の勤労意慾さえうかがえる。こうした少年が多くなれば青少年問題も自然に解決してくるのではあるまいか。子を持つ人たちに、先生たちに、あえてこの〃善行日記〃をおくることとする。

ぜんこう日記

南国市立香長中学校
三和分室　二B組
浜口宣浩

九月二日　水曜日
僕は学校からの帰り道で道ばたに大きな石があったのでよせてやった。

九月四日　金曜日
僕は下田から映画のフィルムを自転車につんで通った時、溝のふちにオートバイがつゝこんでいたので上げてやった。

九月五日　土曜日
学校から帰り道の坂でおばさんがようよう上っていたのでおしてあげた。

九月六日　日曜日
お隣りのおばさんがちょっと赤ちゃんをだいてと言うのでだいてあげた。

九月七日　月曜日
僕は学校から帰ると校長先生にもらったピンポンの球を子供に分けてやった。

九月十日　木曜日
学校で友達が足にびようをたてていたのをとってやった。

九月十一日　金曜日
僕は学校から帰りがけに人を自転車につんで来てやった。

九月十二日　土曜日
朝、お母さんが足がすくんでいると言いだした。僕が「たまらんねえ、毎日歩いて仕事にいくくれて、僕等の為にすまんねえ。一台の自転車があるけんどそれはお父さんがかけもちにいたり僕がのったりするのでお母さんがのる事ができんねえ。お母さんがかわいそうで僕が笠松へつんでいってあげよう」といって自転車につんでいきました。それから学校へ来ました。学校へ着いたのは七時半です。

九月十三日　日曜日
昼、海で泳いでいました。僕等が泳いでいる向うでハツパをかけていました。おじさんがあがれとよびましたからすぐ上りました。

九月十四日　月曜日
今日僕が学校から帰るのがおそかったのでひるの分はお父さんに映画のフイルムをはこんでもらいました。お父さんは下田へ行かずパチンコをやって家にいたからです。それで夜は僕がフイルムを運びました。お父さんは夜もパチンコをやっていました。お金もやらずにおいてありましたので僕がひるの分と夜の分と合わせて六〇〇円はらってあげました。

九月十九日　土曜日
は映画フィルムのかけもちに行く途中、中ノ丁でおばさんが自転車のチェンをはずしてこまっていたのでかけてやった。

九月二十日　日曜日
朝の七時半頃から網へ行った。まえは棒でまわしていたが今は機械になっていますので、僕はたゞつなをひっぱっただけですんだがおばさんに魚をもらってかえった。

九月二十一日　月曜日
学校から帰り道ねこが川の中でおぼれていたのを助けてやった。

九月二十四日　木曜日
今日は晩かけもちに行った。前浜の撃君の帽子を技師がなげた。もうまっくらで時計を見ると七時半であった。⊖へ行って前浜に来てみるともうないとあきらめていた帽子があったのでひろってやった。

九月二十八日　月曜日
学校へ行きがけに道ばたにくしが落ちていた。僕がひろっておばさんに「これはおばさんのくしだろう」と言うとおばさんは「まあ、どうも有難う」と言ったので僕ははずかしかった。

九月二十九日　火曜日
僕が学校から帰ってみるとお母さんもまだ帰っていない。お父さんもまだ帰っていないので僕がごはんをたいてやった。

十月十一日　日曜日
百米走の時、用意ドンで走りました。僕はころんでビリになりました。ビリになったのはよかったがすねにきずをしました。運動会がすんで家にかえって晩、お母さんが「フィルムを運び」というので自転車で走りました。

少年犯罪を防ぎましょう

南国警察署防犯係

戦後いろいろな原因が重なりあって各種、犯罪が激増してきましたが、なかでも少年犯罪の増加が目立っています。本県の場合、一昨年度検挙した犯罪のうち少年犯罪は全体の約二九パーセントですが、昨年度は全体の約三一・五八パーセントを占め、戦後最高です。南国警察署管内の少年犯罪も右の例にもれず最近非常に増加しており、

昨年度の管内少年犯罪の罪種を検討して見ますと、放火、強盗罪等の凶悪犯、傷害、暴行、脅迫、恐喝罪等の粗暴犯、強姦、わいせつ罪等の性犯罪の多いことは、まことに嘆かわしいことであります。また、「ぐ犯行為」といって犯罪とまでいかないが、犯罪の一歩手前の行為をする者も大変増しています。少年は明日の日本を背負う大切な国の宝で、これを正しく育成してゆくには皆さんの家庭を中心にして、父兄も学校も警察も互に手をつないで協力していくことがもっとも大切であると思います。

少年犯罪はどのようなことから芽生えてくるのでしょうか。第一に家族の方が無関心だったことがあげられます。子供の学校帰りが不規則になっても気をつけない。子供が不良友達と遊んだり家財を持出しても気がつかない。そのうちに子供はとりかえしのつかない不良になって犯罪をおかすようになるのです。それほどまでになってもまだ「うちの子に限って」と気がつかない親も多いようです。子供の人権は尊重してやらねばなりません。しかし家族が買ってやらないものを子供が持っていたりポケットから、たばこの粉がでてきたりしたときにはよく気をつけてやるようにし、あまり不良化しないうちに正しい道に戻さなければなりません。

パチンコ、好ましくない映画やエロ本、あるいは良くない友達の誘いなど、子供を取り巻く環境にはあまり良くないものが多いため意志の弱い子供は、ついこの悪い環境にひきずりこまれてしまいがちです。たばこをのんだり。酒をのみ始めたらまず不良化が始まり、犯罪一歩手前とみてよいと思います。その頃にはたいがい夜間外出が多くなり、いかがわしい友人との交際が多くなっています。お子さんが最近様子が変って来た、どうもおかしいと気がついたときは、遠慮なくすぐ警察へ相談に来て下さい。警察には、少年係がいて相談にあずかっています。少年係は少年に対し、愛情ある温かい気持でよくお話を聞き、少年の秘密にも十分気をつけ、許嫁の名誉も考えて、決して御迷惑のかからないようにして、御相談に応じ一番よい方法を一緒に考えるようにしています。

「一人で悩むより先ず相談を」ということを実行して下さい。理解ある皆様の力と、専門の警察の力とが一つにまとまれば、必ず少年の不良化や犯罪防止の成果が上がると信じます。遠慮なく警察を利用し、共に手を携えて、少年の不良化を未然に防ぐと共に、不良化した少年は早く正しい道に返しましょう。

◇不良化診断十訓◇

一、態度や顔つきが変ってくる。
二、言葉つきが変わり、ウソが多くなる。
三、服装に今までと変ったところが見え、持物に疑問なものが見られるようになる。
四、学校や勤め先の帰りが遅くなる。
五、外出が多くなる。
六、変った友人との交際や誘い出しが多くなる。
七、学業成績が急に低下したり、勉強や業務をおこたる。
八、読み物に急な変化があらわれてくる。
九、金づかいが荒くなる。
十、喫煙、飲酒をする。

俳句

久礼田　岸覚

忘年会の帰りに残業の弟に会う
パチンコ屋に飛び込む渦の台父なり
冷たき夜の障子の内に道を問う
冬の日を膝にもらいて足袋をつぐ

踏切を通るとき

△かならず一時止まって、汽車が近ずいているかどうかを確かめてから通りましょう。

△警報機が鳴っているときは絶対通らぬようにしましょう。

△汽車が非常ブレーキをかけてから、止まるまでには次のような距離を走ります。

急行列車＝四三〇メートル（時速九十キロで一秒間に二五メートル）
普通列車＝二五〇メートル（同七十キロ、同一九メートル）
貨物列車＝三一〇メートル（同五十キロ、同十四メートル）
気動車＝一七〇メートル（同七十キロ、同一九メートル）

踏切の種類

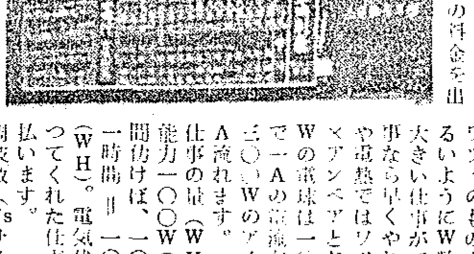
第一種＝踏切番のいるもので、交通量の多いところにある。
第二種＝時間交通量の多いときだけ、踏切番をおく。
第三種＝警報機のついている踏切で交通量がやや少く踏切番をおかない。汽車が近ずくとベルが鳴り、赤い灯が点滅する。
第四種＝交通量が少くて、以上のような安全施設のない踏切。

大埇竹中部落竹ノ内鎮座の大将軍神社考

松村義正

目下建設工事中の香長中学校の位置で知られている大埇竹中部落は、明治の中期竹ノ内と中島とが合一して成った部落名だと聞いているが、ここの竹ノ内字将軍丸という田圃の中（乙一八七三番の社地一畝十二歩）の小丘老樹の影に古来から俗に将軍様という一字の社堂が土地の崇敬者によって維持祭祀されている。武藤美濃屋の大成した〃南路志〃には大将軍社々地三代竹ノ内土居社領一反とあって土佐戦国時代名ある侍大将の居つた屋形跡を偲ばしめるものがある。現在同社の祭神は天の御中主神となっているが、戦国の世に武将の信仰した北辰星菩薩の上からいうと、武運長久の造化の主神を祭っていることは妥当といえよう。併し私の考え方は、由来社名と地名とは多く連結しているので、この社を竹内家の御先祖祠で武ノ内将軍代々を祭祀されている神社ではあるまいかとも思っていた。

◆処で計らずも、上倉白木谷の畏友竹中常喜君の来訪をうけ要談の後、同君のいうのに「私の家は竹中姓であるが白木谷の武内姓と同族で家伝の先祖書に大ソネの竹ノ内に祖先の住居した屋敷跡を一度訪いたいと思っている」との話が出た。時に私は竹ノ内将軍様のことを想起したが真偽がハツキリしないので早速調査を約してこの日は別れた。爾来研究してみると正史上近江源氏の佐々木源三秀義に六子があった。太郎定綱、二郎経高、三郎盛綱、四郎高綱、五郎義清、六郎厳秀で、これら六人兄弟の長兄太郎定綱の嫡流で今から凡そ四百余年前大ソネ竹ノ内土居の城塁内に館を構えていたのは、当時長宗我部氏の客分宿老格で大禄を食んでいた佐々木権左衛門尉源隆保公である。岡豊城で竹内と革姓、そこで竹ノ内の地名の出処もハツキリして来た。隆保、その子保綽の大ソネに居つたのは約四百年前の永禄七年の頃から慶長五年に至る凡そ三十五、六年間であつて、隆保の曽祖父佐々木保綱が京都応仁の乱を避け土佐へ入来したのは延徳二年二月というから今から四百七十年前で、土州本山に下向し本山氏の始祖八大左近太夫重滝入道伊典の一方の大将となつて竹中と言う処に在居、それから城主本山氏は養明実茂ー左近太夫茂宗入道梅慶（土佐長岡吾川の地を領し朝倉城に移る）ー式部少輔茂長（妻は国親の長女即ち元親の姉）の時、遂に政略結婚は破れて本山氏は長宗我部氏に滅ぼされた。ために隆保は本山氏との旧縁を断って長曽我部氏に属し客分宿老の待遇をうけて大ソネ竹ノ内土居に居つたもので、ここに先祖祠（将軍様）を建立祭祀したものであろうと勘考する。



美しい汽車の時間表と正しい時計といえば駅や大きい待合所を思わせますが、写真は野中三区の西青年団が数年前から地区の中心部に設けて人々の便利をはかっているものです。

電気の知識

電気器具の電気代は？

電気器具にはどれだけ電気代がいるでしょうか？次に四国電力の資料から五人家族一カ月のおよその料金を出してみましょう。

電灯＝一〇九円、蛍光灯＝四四円、ラジオ＝八七円、テレビ＝二七二円、せんたく機＝二四円、電気釜＝一〇九円、冷蔵庫＝三四三円、掃除機＝二七円、井戸ポンプ＝四四円、アイロン＝五四円、コンロ＝四三六円、トースター＝四八円、扇風機＝五八円、こたつ＝三二七円、あんか＝三九円

電気のことば

電圧（Vボルト）　水道管を水が流れるのは圧力があるからで、電気も圧力（電圧）があるから流れます。この電圧はボルト（V）という単位で測ります。電灯線は一〇〇V、工場モーターは二〇〇Vの電圧です。

電流（Aアンペア）　水の流れにあたる電気の流れが電流で、アンペア（A）という単位で測ります。一〇〇ワットの電球は一アンペア、六〇〇ワットの電気釜は六アンペアの電流が流れます。

仕事をする能力（Wワット）　一〇〇ワットの電球は六〇ワット、のものより二倍も明るいようにW数が多いと、大きい仕事ができ、同じ仕事なら早くやれます。電球や電熱ではワット＝ボルト×アンペアとなり、一〇〇Wの電球は一〇〇V×一Aで一Aの電流が流れます。三〇〇Wのアイロンには三A流れます。

仕事の量（WHワット時）　能力一〇〇Wのものが一時間働けば、一〇〇ワット×一時間＝一〇〇ワット時（WH）。電気代は電気がやってくれた仕事の分量で支払います。

周波数（c/sサイクル）　電気の波である周波数を、サイクルで測ります。関西方面では六〇サイクル、関東方面では五〇サイクルの電気がきているため、五〇サイクル地域は五〇サイクル用器具というようにわかれますが電球や電熱器のようにサイクルの書いてないものは共用できます。50／60と書いてあれば共用できます。

こんな使い方も

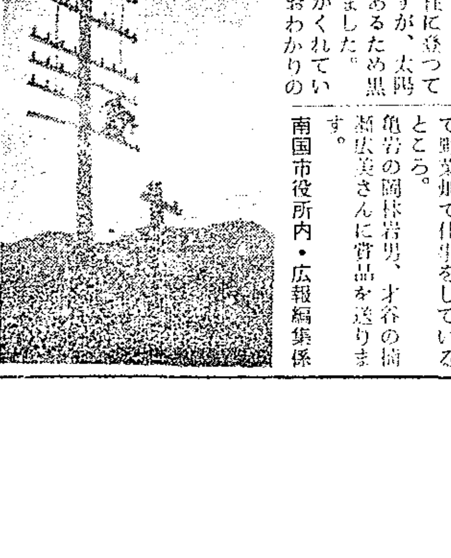
……電気ガマ……

せんべいや、あわおこしには湿気がくることがありますが、これを紙に包み、電気ガマには水を入れないでフタをして電気を通しますと、しばらくするとスイッチが切れますから、取り出して冷めてからめし上って下さい。もとのようにパリ音明れのよい音がします。なお釜の余熱でもやれます。

水止め中電休しない

毎年の舟入用水止め中に電休日があって、市民の不安は大きかったが、四国電力では市民の声を取り上げてことしから、小山、唐戸、小籠を除き電休をやらないことに決定した。

なんでしょう



電気屋さんが電柱に登って仕事をしていますが、太陽はむこうがわにあるため黒く写ってしまいました。太陽は、どこにかくれているのでしょう。おわかりの方は月末までに次のところへはがきでお知らせ下さい。正解者はクジ引きのうえ三人までに賞品を送ります。

南国市役所内・広報編集係

前号は、カナバ帽をかむって野菜畑で仕事をしているところ。亀岩の岡林岩男、才谷の浦瀬広美さんに賞品を送ります。

寄稿について

△この広報にご寄稿の場合はなるべく原稿紙をお使い下さい。また、原稿紙に書いたように、字の間をあけていただきたいと思います。

△原稿はお返ししませんから必要な方は写しをとっておいて下さい。

△締め切り日は、毎月末です。

△原稿届け先は「南国市役所内、広報係」